

# グローバル展開プログラム(研究テーマ設定型研究テーマ)

- ◆課題:「グローバル社会における排他主義と民主シーに関する総合的研究」
- ◆研究テーマ:「グローバル社会における民主シーと国民史・集合的記憶の機能に関する学際的研究」

研究期間:H29.2~H31.9  
委託費総額:53,051千円

## <研究代表者>

橋本伸也:関西学院大学文学部/教授



<専門分野>  
ロシア・東欧史・バルト地域研究・比較教育社会史  
<Webページ>  
<http://history-memory.kwansei.ac.jp/past/index.html>

## <研究目的・概要>

グローバル化の進展とともに世界中で強まる「アイデンティティの政治」とナショナリズム。露骨な排外主義のあらわれとともに、深刻な危機に晒される民主シー



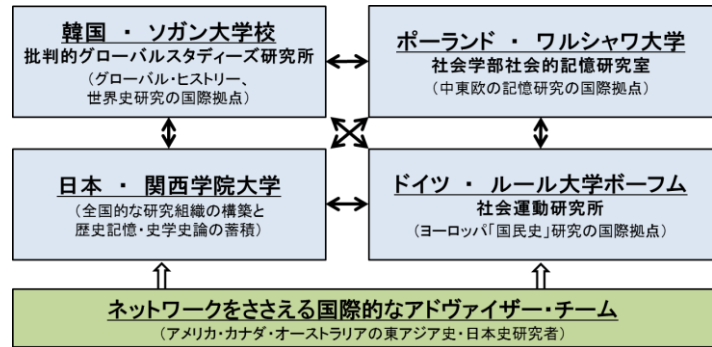
一国単位で書かれてきた「歴史」と内向きの「集合的記憶」は、この危機にどう結びついてきたのか？  
国際的研究ネットワークの中で問う



アジアとヨーロッパ各国の歴史と集合的記憶の制度化のされ方の吟味から、危機に正面から向き合う歴史学・人文学と人びとの集合的記憶のあり方の解明へ

## <研究計画の特徴>

### (1)国際的な研究ネットワークの構築とアドバイザーチーム



- (2) 複数言語による研究成果発信による対話の場の創出
- (3) 世界で対話できる若手育成のための研究者派遣事業

## <目標とする研究成果>

- (1) 歴史と集合的記憶の機能の解明  
「空間」「時間」「ナラティブ」を鍵に、「歴史と集合的記憶の体制」のこれまで/これからを解明する
- (2) 新たな「過去の語り方」の探究  
世界に開かれた歴史の構想と、相互を認め合い民主シーを育てる集合的記憶への展望を見いだす

## <将来展望>

ユーラシアの東西をまたにかけた歴史と集合的記憶をめぐる国際対話の場の構築と持続